

**次世代リーダー/グローバル人材育成プログラムのご紹介  
海外大学提携オンライン講座**

株式会社アビタス

法人営業部

## 本資料の内容

1. アビタスについて
2. アビタスの経営関連講座について
  - ・ マサチューセッツ大学MBAプログラム
  - ・ Harvard Business School Online講座
3. 法人プレミアム割引のご案内

# 1. アビタスについて

世界で通用する知識が身につく最先端の教育コンテンツを提供し、財務会計・経営・ガバナンス・語学といった様々な領域で日本企業のグローバル人材育成を総合的に支援しています。



**研修・講座・人材サービス**

<p><b>財務・会計</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>U.S.CPA (米国公認会計士)</li> <li>IFRS (国際会計基準)</li> <li>企業会計入門</li> <li>投資分析基礎</li> <li>管理職向け会計、M&amp;A会計入門</li> </ul>	<p><b>経営・他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マサチューセッツ州立大学MBA</li> <li>ハーバード・ビジネス・スクール (HBS)オンライン</li> <li>英文ロジカルライティング</li> </ul>
<p><b>ガバナンス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>CIA (公認内部監査人)</li> <li>CISA (公認情報システム監査人)</li> <li>CFE (公認不正検査士)</li> <li>サイバーセキュリティ</li> <li>監査ヒアリングスキル</li> <li>不正会計リスクマネジメント</li> </ul>	<p><b>語学(日本語)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>留学生向け日本語コース、外国人就労者向け日本語教育コース、日本語教師養成コース</li> <li>海外教育事業</li> </ul>
	<p><b>人材紹介</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人材紹介 (会計・財務・監査系)</li> <li>外国人材紹介・登録支援機関</li> </ul>

<b>名称</b>	株式会社アビタス
<b>事業内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教育事業</li> <li>●法人研修事業</li> <li>●人材紹介事業 人材紹介 (厚生労働大臣許可 13-ユ-302408) 人材派遣 (厚生労働大臣許可 (派) 13-302848)</li> <li>●貸会議室事業</li> </ul>
<b>代表取締役</b>	宇坂純
<b>設立</b>	1995年7月27日
<b>所在地</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新宿本校 (本社)</li> <li>●大阪校</li> </ul>
<b>導入企業</b>	大手総合商社、大手金融機関、地方金融機関、戦略・ITコンサルティング、監査法人、財務・会計コンサルティングファーム、大手製造業、大手情報システム、大手製薬など、3,000社以上

1

## 財務会計・ビジネス・監査領域に特化した専門性の高い講義

- 米国公認会計士（U.S.CPA）や米国MBAの専門校として、20年以上にわたり日本のビジネスパーソンの学びを支援してきた実績があります
- 資格・学位取得者でもある専門家の講師から直接講義を受けることで、理論や世界標準を正確かつ体系的に学習します
- 実践に活かせる知識のみならず、理論をもとに実践に応用できる包括的な知識習得を図ることが可能です

2

## グローバルの最新知識を日本語で学習

- AICPA（米国公認会計士協会）やUMass（マサチューセッツ州立大学）、HBS Online（ハーバード・ビジネス・スクールオンライン）やIIA（内部監査協会）といった海外の教育機関/団体による講座や資格から、最新の国際標準の内容を学びます
- ラインナップのほとんどに、日本語の教材や学習サポートをご準備しています

3

## 充実したアウトプットコンテンツ

- 資格予備校の提供する研修ならではの特長として、習熟度確認のためのテストや演習ツールを豊富にご用意しています
- 研修の目的や、受講者の階層毎に求める知識レベルに応じて適切な形式でカスタマイズも可能です

# 主な資格・学位取得講座

	講座名	概要	主な属性	一般価格*1	講義時間*2	総学習時間	サポート期間	備考
財務・会計	 U.S. CPA (米国公認会計士)	国際的なビジネス資格、USCPA（米国公認会計士）資格取得を目指すコースです。会計はもちろん、ファイナンス、法律、ITなどグローバル人材に必要なビジネス知識を英語で学習します。	経理・財務部門 経営企画部門	61.6万～ (ライトバック)	188時間 (67回・ 9カ月*3)	700～1000 時間	5年間	受講者年齢層 平均31歳
	 IFRS (国際会計基準)	IFRS（国際会計基準）の基準書を体系的に学びます。ICAEW（イングランド・ウェールズ勅許会計士協会）主催の検定試験に対応しており、知識と理解を検定合格によっても証明できます。	経理・財務部門	19～20万	50時間 (20回・ 3ヶ月)	150～200 時間	2年間	日本の資格試験スクールで唯一、IFRSを体系的に学べるコースとして開講
経営	 MBA	アメリカの名門州立大学「マサチューセッツ州立大学」と提携したプログラムです。オンラインで受講でき、留学不要のため、仕事を継続しながら取得可能です。国際認証のAACSBを取得しています。	海外事業部など 全部門	\$13,822～ \$28,100	基礎課程 6ヶ月程度 上級課程 16ヶ月程度		5年間	基礎課程：アビタスでの通信・通学講座を受講 上級課程：現地の通信講座を受講
	 ハーバード・ビジネス・スクール オンライン	ハーバード・ビジネス・スクールによる、世界トップレベルの学習コンテンツと最先端のオンライン学習プラットフォームを組み合わせた修了証取得プログラムです。6領域・全20講座のラインナップの中で、1講座から受講可能です。	海外事業部など 全部門	\$1,850 から割引 /1講座	3週間 ～ 8週間	15～20 時間/週	3週間～8週間	日本の資格試験スクールで唯一、ハーバードビジネススクールと提携
ガバナンス	 CIA (公認内部監査人)	内部監査の国際資格、CIA（公認内部監査人）資格取得を目指すコースです。内部監査に関する国際的なフレームワーク・グローバルスタンダードを学ぶとともに、会計、ITなどコンサルティングに必要な知識も学習します。	内部監査部門 監査役 内部統制関連部門	23～24万	72.5時間 (29回・ 3～4ヶ月)	300～400 時間	2年間	受講者年齢層平均40 歳半ば
	 CISA (公認情報システム監査人)	システム監査の国際資格、CISA®（公認情報システム監査人）資格取得を目指すコースです。実効的なシステム監査を行うための知識はもちろん、ガバナンス、セキュリティなどの知見を深めます。	内部監査部門 情報システム部門 システム監査従事者	19～20万	30時間 (10回・ 3ヶ月)	120～150 時間	2年間	日本の資格試験スクールで唯一、主催団体ISACAとエリートパートナーとして提携
	 CFE (公認不正検査士)	不正対策の国際資格、CFE（公認不正検査士）資格取得を目指すコース。不正に関する総合的な対処方法のグローバルスタンダードとして、「財務取引と不正スキーム」「法律」「不正調査」「不正の防止と抑止」を学び、リスクの評価・対応を可能にします。	法務部門 コンプライアンス部門 内部監査部門	19～20万	41.5時間 (16回・ 3ヶ月)	100～150 時間	2年間	日本の資格試験スクールで唯一、CFEを体系的に学べるコースとして開講

\*1 入学金・オプションは除いた金額、千円以下四捨五入の値を記載

\*2 カッコ内は、ライブ（校舎）授業の回数および期間

\*3 1学期2クラスずつ受講し、9ヶ月で修了する場合

# 社会人向け国際資格の合格実績

Abitus

アビタスは1995年の開講以来29年間にわたり様々な学習機会の提供を行い、社会人向けの国際資格合格実績は国内で圧倒的No.1を誇ります。

## USCPA 合格実績

累計 **6,800**名突破

最短確実に合格するならアビタス

日本合格者の約**3**人に**2**人が

Abitus卒業生

圧倒的  
合格実績  
No.1

※日本在住合格者はNASBA調べ、アビタス合格者数はアンケート結果の数値を元に算出

## UMass MBA 合格実績

累計 **850**名突破

## CIA 合格実績

累計 **4,500**名突破

## CISA 合格実績

累計 **1,800**名突破

## CFE 合格実績

累計 **600**名突破

## 2. アビタスの経営関連講座について (マサチューセッツ大学MBAプログラム)

# マサチューセッツ大学MBAプログラム（UMass MBA）とは

アメリカの名門州立大学「マサチューセッツ州立大学」とアビタスが提携したMBA取得プログラムです。2012年の提携開始から、これまでに延べ850名以上の卒業生を輩出しています。

## ■UMassの大学概要

正式名称	マサチューセッツ大学ローウェル校 「MANNING SCHOOL OF BUSINESS（マニング・スクール・オブ・ビジネス）」
所在地	アメリカ ポストン
呼称	UMass Lowell
学生数	ローウェル校単体で18,000名、UMass全体では60,000名
開講年	1971年
学生の属性	30代が約50%、男女比7:3、学生は31か国から



## ■UMass MBAのアビタスプログラム概要

学費+入学金	\$28,100 ※円貨決済が可能です。
カリキュラム	下記、2段階式カリキュラムを採用 基礎課程：アビタスでの通信・通学講座を受講（日本語講義） 上級課程：現地の通信講座を受講
入学要件	4年制大学卒業の学位 ※GMAT/TOEFL不要
在籍可能期間	5年間
学生平均在籍期間	約3年
アビタスからの卒業生数	865名（2024年5月時点）



# UMass MBAのポイント



日本に居住しながら米国MBAが取得できる唯一のプログラムとして高い評価を受けており、完全オンライン受講のため業務や家庭と両立しながら、短期かつリーズナブルな費用で学位取得が可能です。

## 日本で取得可能なMBAプログラムとしては最高位の評価

## 完全オンラインで学位取得可能

### ①国際認証AACSBを取得

### ②米国オンラインMBAで9位

### ③短期間での修了が可能

### ④リーズナブルな費用を実現



UMassはビジネススクールの国際認証であるAACSB認証を取得しています。この認証を得ているのは**世界のビジネススクール全体でも5%未満**のため、厳しい審査をクリアした高品質の証といえます。

世界オンラインMBAランキングで9位を獲得しており、これは**日本国内で取得可能なMBAプログラムとしては唯一かつ最高位**です。UMassは1990年代のインターネット黎明期からオンラインプログラムを提供しており、実績とノウハウを蓄積していることがアメリカ本国でも評価されています。

オンライン受講によりフレキシブルな学習進行を実現しながら、現地通学者と同じ学位を取得することができます。入学準備（TOEFL・GMAT不要）・学習過程を通じて**通常の海外MBAの半分弱の期間で修了可能**です。

渡航や現地滞在費用が不要となるため、費用負担は現地留学に比べて1/6程度とリーズナブルです。これにより、**より多くの経営人材候補・次世代リーダー候補へMBAを受講させることが可能**です。

## 【参考①】国際認証AACSBの取得

AACSBは、MBA発祥の国である米国のプログラムの中でも高い品質であることを示す国際認証です。AACSBの認証を得ているビジネススクールは世界の5%未満です。

(参考) MBAにおける国際的な評価機関

名称	AACSB (the Association to Advance Collegiate Schools of Business)	EFMD (the European Foundation for Management Development)	AMBA (the Association of MBAs)
本部所在地	米国、フロリダ州タンパ	ベルギー、ブリュッセル	英国、ロンドン
設立年	1916年	1972年	1967年
加盟団体数	90か国・地域の1500以上の 教育機関等	86か国900以上の教育機関等	70か国以上200以上のビジネス スクール
認証を取得した 学校数	786校 (53の国・地域)	【Equis認証】 170校 (42か国) (Equis : EFMDが実施する、大学等の 組織・機関を対象とした認証。この他、 Epasがある)	240校以上 (70か国以上)

出所 : 文部科学省「経営系大学院を取り巻く現状・課題について」

## 【参考②】MBAランキングにおけるポジション

### 米国オンラインMBAランキング

日本国内で取得可能なMBAプログラムとしては唯一かつ最高位のランキングを取得しています。

順位	大学名
1	Indiana University- Bloomington
2	University of Florida
3	Carnegie Mellon University
4	University of Southern California
5	Rochester Institute of Technology
6	University of North Carolina- Chapel Hill
7	University of Washington
8	University of Iowa
<b>9</b>	<b>University of Massachusetts Lowell</b>
10	University of Massachusetts Amherst

出所 : Fortune Best Online MBA Programs 2023

### 世界大学ランキング

大学としても高い評価を得ており、国内の上位国立大学と同等以上の評価を受けています。

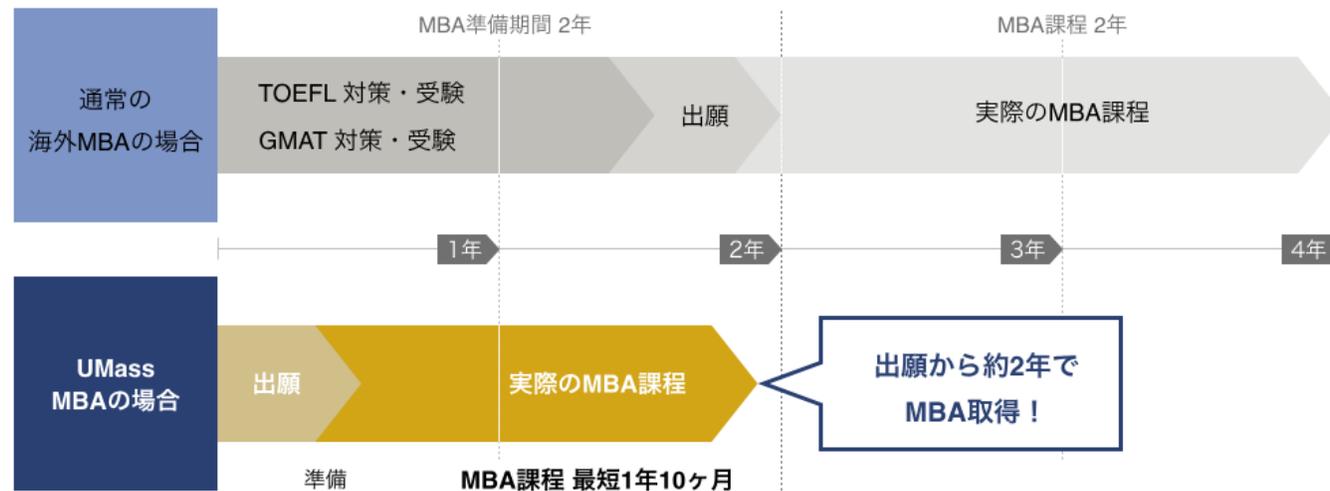
順位	大学名
1	University of Oxford
2	Stanford University
3	Massachusetts Institute of Technology
4	Harvard University
5	University of Cambridge
29	The University of Tokyo (国内)
55	Kyoto University (国内)
<b>123</b>	<b>University of Massachusetts</b>
130	Tohoku University (国内)
175	Osaka University (国内)
191	Tokyo Institute of Technology (国内)

出所 : Times Higher Education World University Rankings 2024

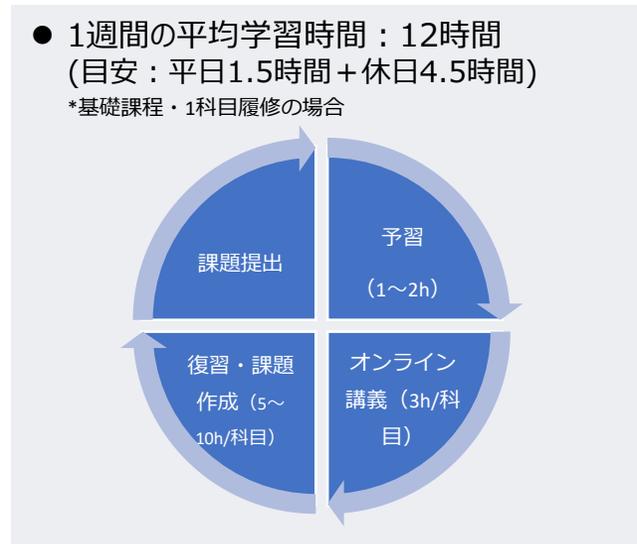
# 【参考③】完全オンラインで業務と両立させながら学位取得が可能

出願から学位取得までが完全にオンラインで完結するため、フレキシブルな学習進行で**業務との両立を実現しながら現地通学者と同じ学位を取得**させることができます。  
入学準備（TOEFL・GMAT不要）・学習過程を通じて**通常の海外MBAの半分弱の期間で修了可能**です。

## 学位取得までの期間目安



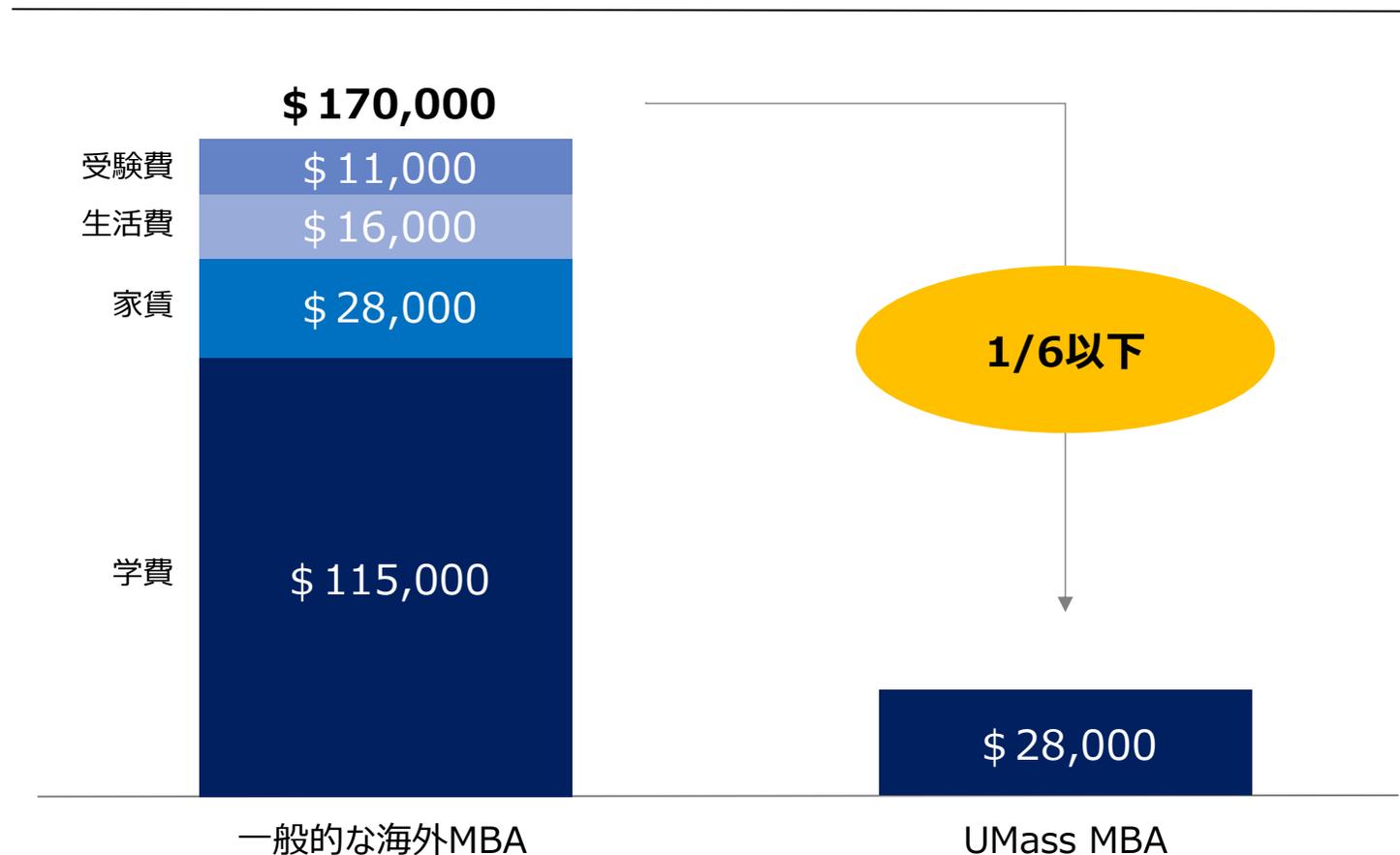
## 平常時の学習時間例



## 【参考④】リーズナブルな費用を実現

渡航や現地滞在費用が不要となるため、費用負担は現地留学に比べて1/6程度とリーズナブルな水準です。  
これにより、より多くの経営人材候補・次世代リーダー候補へMBAを受講させることが可能です。

学位取得までの費用目安



# 海外MBAにも関わらず高い学習完遂率を実現

アビタスのプログラムでは、基礎課程は日本人講師による日本語授業や日本語サポートテキストを利用できるため、**入学時点での英語力を問わずスムーズに学習開始が可能です**（一方で上級課程ではグローバルのプログラムに合流し、米国を含む30か国以上の学生と学び合える環境）。

海外MBAの最大のハードルである**英語力を基礎課程の学習プロセスの中で向上させることができる**ため、アビタスプログラムの**全課程の学習完遂率は非常に高い水準**となっています。

## アビタス独自

基礎課程 6科目

lang	Text	Task	With
日本語授業	日英MIX	英語での課題提出	日本人学生

上級課程 10科目（必須7科目+選択3科目）

lang	Text	Task	With
英語授業	英語教材	英語での課題提出	海外学生

アビタスのUMass MBAは、法人が抱えるMBA派遣の課題を解決できるプログラムとなっています。

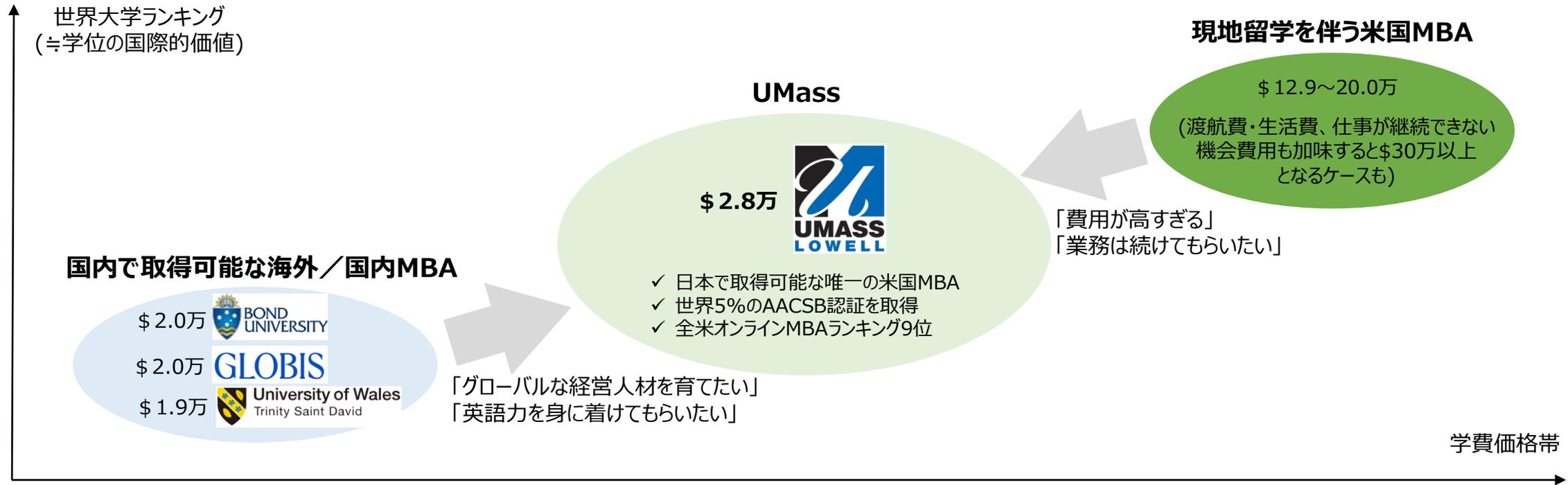
## 法人派遣の課題

- 1 **コストが高い**
- 2 **離職による人材流出**
- 3 **準備・入学のハードルが高い**

## アビタスのUMass MBAなら

- ✓ 国際的価値の高い米国MBAをリーズナブルな費用で取得可能
- ✓ 学位取得後も現職での勤続率が高い  
(英語力/MBA学習内容を活かした要職等でご活躍されるケースが多い)
- ✓ 入学のための英語試験が不要なため準備期間が短く入学ハードルが低い

# 法人導入のMBAプログラムの比較



		国内で取得可能な海外／国内MBA		UMass MBA		米国MBA(現地)	
学位の国際的価値	国際認証	×	認証なし	○	AACSB国際認証	○	認証校あり
	MBAランキング	×	ランキング圏外	○	米国オンラインMBA9位	◎	トップ校あり
受講の難易度	勤務継続	○	オンラインで完結するため現職を継続可能	○	オンラインで完結するため現職を継続可能	×	現地滞在が必須なため休職が必要
	学費価格帯	◎	\$ 2.0万前後	○	\$ 2.8万	×	\$ 12.9～20.0万 +a
必要な英語試験	入学時の英語力/準備	×	英語試験スコア/英文エッセイ等の提出が必要な場合あり	○	GMAT/TOEFLなど不要	×	GMAT/TOEFLなど必須 *学習準備には平均1年以上の学習が必要

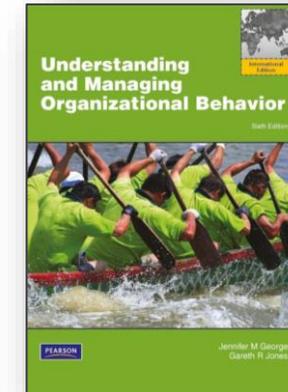
顧客企業	年齢	UMass MBAを選んだ理由	卒業生のフィードバック	学位取得後の人材配置とキャリア
外資医薬メーカー A社	30代前半	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語力の向上が期待できる</li> <li>英語力の入学ハードルが低い</li> <li>オンラインのため業務継続が可能</li> <li>コストパフォーマンスの高さ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受講中はコロナ渦や業務逼迫などの場面もあったが、オンラインのため学習を継続することができた</li> <li>入学当初の英語のハードルが低かったため受講開始できた</li> <li>受講を通じて英語力を高めることができた (TOEICは入学時500点→上級課程進学時860点)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語力やビジネス的素養が必要な要職へ異動 (MR→患者向けアプリの開発PO)</li> </ul>
大手損害保険会社 B社	30代後半	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語力の向上が期待できる</li> <li>オンラインのため業務継続が可能</li> <li>コストパフォーマンスの高さ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務継続ができたため、MBAで学習したことを日々の業務の中で還元することができた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語力やビジネス的素養が必要な部署へ異動 (システム関連職→オープンイノベーション推進部署)</li> </ul>
大手総合商社 C社	40代前半	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語力の向上が期待できる</li> <li>オンラインのため業務継続が可能</li> <li>コストパフォーマンスの高さ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入学当時から事業部を率いる立場であったため、業務に影響なく渡航不要で学べたことは有難かった</li> <li>日本語サポート付きだったので徐々に英語力を高めることができた点も非常に助かった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会社の経営全体を統括する部署へ異動 (事業部副室長→経営企画部署)</li> </ul>
大手自動車部品 メーカー D社	40代後半	<ul style="list-style-type: none"> <li>アメリカMBAのため品質が高い</li> <li>英語力の向上が期待できる</li> <li>オンラインのため業務継続が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンラインで学べたので業務との両立が容易だった</li> <li>英語は全く得意ではなかったが、段階的なカリキュラムにより英語力を高められた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外法人の社長に登用 (国内本社役員→米国法人社長)</li> </ul>
大手食品メーカー E社	50代前半	<ul style="list-style-type: none"> <li>アメリカMBAのため品質が高い</li> <li>英語力の向上が期待できる</li> <li>オンラインのため業務継続が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語力の向とともに、ビジネスの型も理解できたので英語での資料作成がスムーズにできるようになった</li> <li>忙しい中でも業務継続しながら学ぶことができた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外法人の社長に登用 (マーケティング部門→タイ子会社社長)</li> </ul>
大手ITメーカー F社	50代前半	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語力の向上が期待できる</li> <li>オンラインのため業務継続が可能</li> <li>コストパフォーマンスの高さ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上級課程では日本人学生同士では出ないような意見も聞け、グローバルの多様な考え方に触れることができた</li> <li>英語で分析やケーススタディのアウトプットを提出するため、グローバルな仕事に携わる上では必須な学習だった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語力やビジネス的素養が必要な部署へ異動 (営業部→経営企画/戦略部門)</li> </ul>

# 【参考】UMass MBAの学習カリキュラム

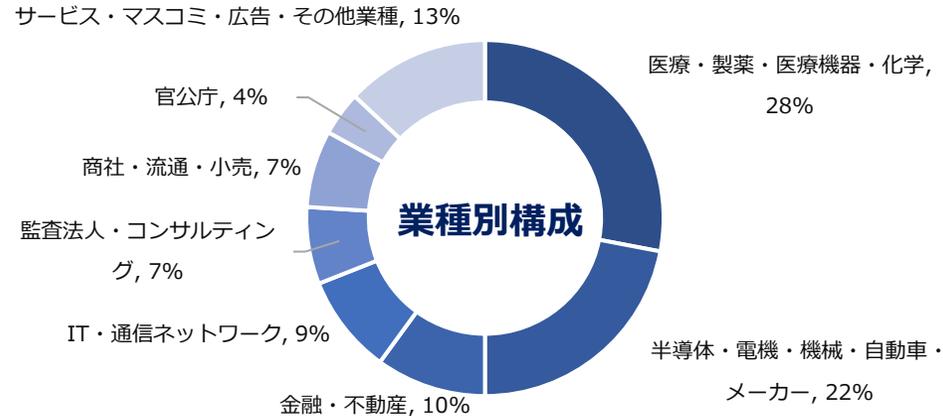
経営人材に必須の基礎リテラシーをグローバル標準で学習することができるプログラムとなっています。

基礎課程 (必修6科目)	財務会計論	マーケティング 基礎	ファイナンス 基礎		
	組織行動論	オペレーション 基礎	グローバル企業と 競争		
上級課程 (必修7科目)	経営意思決定の ための会計情報	顧客と市場	組織改革論	企業財務論	
	オペレーション 管理	経営情報 システム	戦略の立案と遂行		
上級課程 (選択3科目)	国際 ファイナンス	ダイバーシティ経営	新製品開発	ヘルスケア マネジメント	予測分析のための 統計
	国際ビジネス	経営者の リーダーシップ	ベンチャー企業と 創造	ヘルスケア プロジェクト マネジメント	ビジネス インテリジェンスと データマイニング
	国際マーケティング	イノベーションと 新技術	意思決定分析	ヘルスケアにおける 戦略的プランニング	

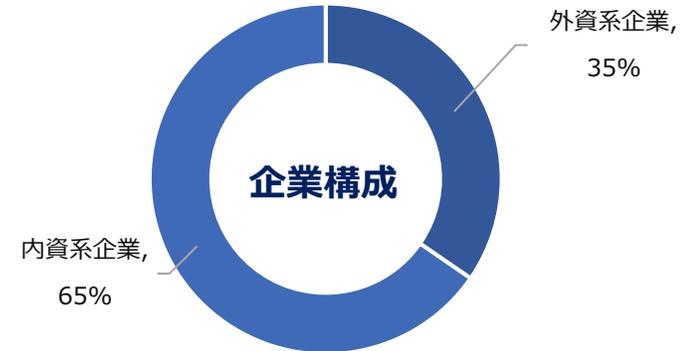
- 「Harvard Business School」や「Wall Street Journal」等のトップスクールと同じケース使用し、ビジネスの知見を広げます



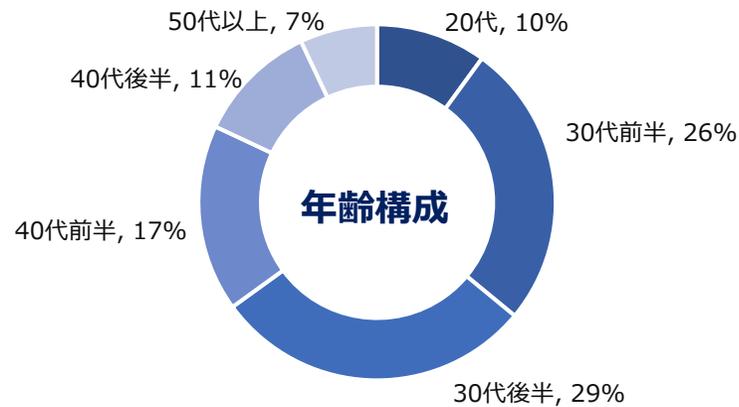
多種多様なバックグラウンドの中で知見を共有しながら学んでいます



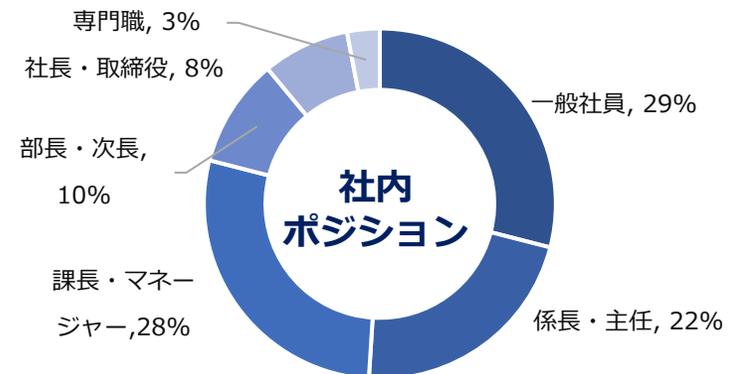
特にグローバル企業からの評価が高く、実際に多くの企業で導入されています



働き盛りの年齢層の受講が多く、オンラインで効率的に学びながら、仕事と家庭と学習を両立しています



職位に関わらず、キャリアアップを目指して入学されています

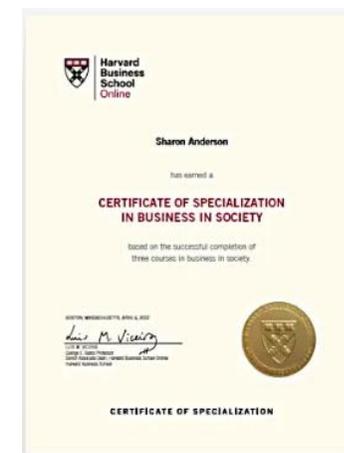


## 2. アビタスの経営関連講座について (Harvard Business School Online講座)

# Harvard Business School Onlineとは

ハーバード・ビジネス・スクールによる、世界トップレベルの学習コンテンツと最先端のオンライン学習プラットフォームを組み合わせた修了証取得プログラムです。

学習期間	3週間～8週間
講座位置づけ	マイクロレデンシャル (効率的に特定のスキルや知識についてリスキングを行う講座)
学習領域・講座	下記8領域で全25講座の展開 (次ページ参照) <ul style="list-style-type: none"><li>・ ビジネス基礎 (Business Essentials)</li><li>・ リーダーシップ・マネジメント (Leadership &amp; Management)</li><li>・アントレプレナーシップ・イノベーション (Entrepreneurship &amp; Innovation)</li><li>・ 戦略 (Strategy)</li><li>・ 会計・ファイナンス (Finance &amp; Accounting)</li><li>・ 企業と社会 (Business in Society)</li><li>・ デジタルトランスフォーメーション (Digital Transformation)</li><li>・ マーケティング (Marketing)</li></ul>
受講料	\$ 1,850をアビタス価格にてご案内
学習要件	TOEIC700点以上目安
学習形態	オンライン <ul style="list-style-type: none"><li>・ 実際の企業のケース事例を用いてグローバルの受講生同士で意見交換 (主にチャット) をしながら学習</li><li>・ すべてオンライン・全編英語で実施</li></ul>
おすすめの受講者層	<ul style="list-style-type: none"><li>・世界最高峰・最先端の一次情報に触れながら学びを深めたい方</li><li>・グローバルビジネスを高い臨場感で体感しながら学習したい方</li><li>・HBSの修了証によるスキルの証明と自信を獲得したい方</li><li>・グローバルの高品質なオンライン講座に興味がある方</li><li>・英語力を高めたい方</li></ul>



## <Linkedinでの掲載一例>

学歴



**Harvard Business School Online**

Certificate in Leadership Principles

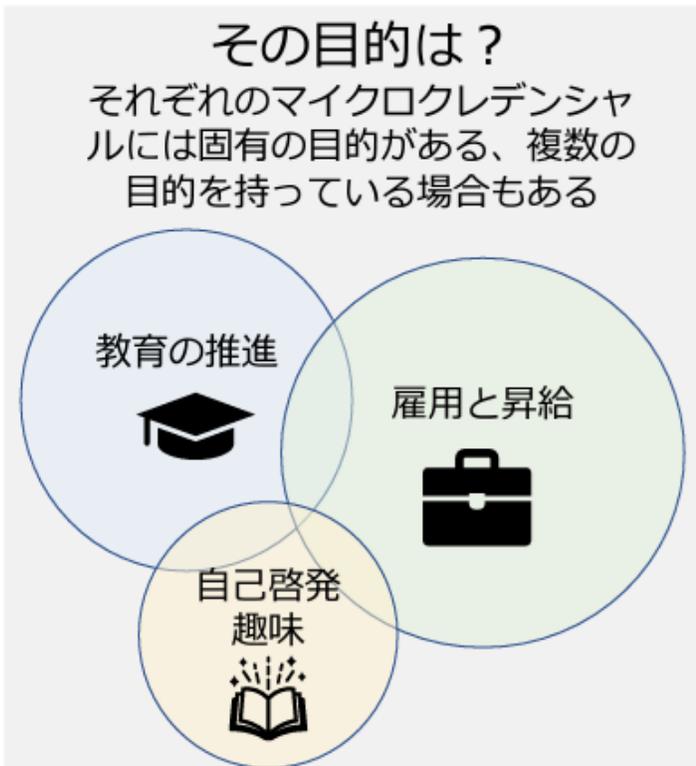
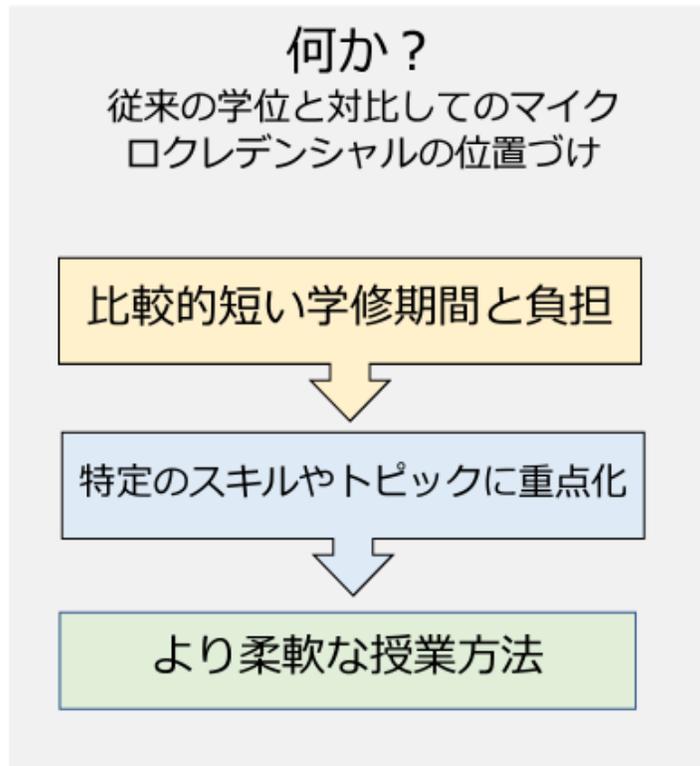
2022年 - 2022年

成績: Complete

Leadership Principles is a 6-week, 25-hour online certificate program from Harvard Business School. Leadership Principles is designed to help individuals thrive as leaders, unleash the capabilities of others, and cultivate high-performing teams. This course leverages self-assessments, 360° feedback from colleagues, and the perspectives of fellow learners to enable participants to build greater self-awareness and enhance the versatility of their leadership style and approach. The program was developed by leading Harvard Business School faculty and is delivered in an active learning environment based on the HBS signature case-based learning model.

マイクロクレデンシアルとは

マイクロクレデンシアルとは何か？ その目的は？



Source: Micro-credential innovations in higher education: Who, What and Why, OECD Education Policy Perspectives No.39, 2021. から作成 (井上) 19



出所：「デジタル学修歴証明と学位につなげるマイクロクレデンシアル」芝浦工業大学 情報イノベーション部 鈴木 洋 資料  
[https://demodl-01.ssd11.smartstream.ne.jp/demodl-01/utsumi/2-1\\_digital\\_g\\_sym2024.pdf](https://demodl-01.ssd11.smartstream.ne.jp/demodl-01/utsumi/2-1_digital_g_sym2024.pdf)

## 1. 開講オリエンテーションを付帯しています。

学習開始までのオリジナルサービスとして、オリエンテーションを付帯します。

履修登録までの流れや、プラットフォームの活用方法、効果的な学習の進め方など

日本人学習者が不安を抱きやすいポイントを重点的にフォローします。

また、日本人の同期受講生とのネットワーク構築の機会も提供いたします。

## 2. アビタス経由でのお申込みで、お得にご受講いただけます

アビタス経由での受講のお申込みは、本国での一般価格よりもお安くなります。

# アビタス提携講座の一覧

アビタスで8領域・全25講座を提供しています。

## ビジネス基礎 (Business Essentials)

- ビジネスアナリティクス (Business Analytics)
- マネージャーのための経済学 (Economics for Managers)
- 財務会計 (Financial Accounting)

## アントレプレナーシップ・イノベーション (Entrepreneurship & Innovation)

- 破壊的イノベーション戦略 (Disruptive Strategy)
- 起業家精神の基礎 (Entrepreneurship Essentials)
- ハーバード流交渉術 (Negotiation Mastery)
- デザイン思考とイノベーション (Design Thinking and Innovation)
- テックベンチャーの立ち上げ (Launching Tech Ventures)

## 会計・ファイナンス (Finance & Accounting)

- 財務によるリーダーシップ (Leading with Finance)
- 財務会計 (Financial Accounting)
- サステナブル投資 (Sustainable Investing)
- オルタナティブ投資 (Alternative Investments)

## デジタルトランスフォーメーション (Digital Transformation)

- ビジネスにおけるAIの基本 (AI Essentials for Business)
- デジタルプラットフォームの活用 (Winning with Digital Platforms)

## マーケティング (Marketing)

- デジタルマーケティング戦略 (Digital Marketing Strategy)

## リーダーシップ・マネジメント (Leadership & Management)

- マネジメント基礎 (Management Essentials)
- リーダーシップの原則 (Leadership Principles)
- 組織のリーダーシップ (Organizational Leadership)
- 戦略の実行 (Strategy Execution)
- ポジティブ・インパクトを生み出すリーダーシップ (Power and Influence for Positive Impact)
- ハーバード流交渉術 (Negotiation Mastery)
- リーダーシップ倫理と企業の説明責任 (Leadership, Ethics, and Corporate Accountability)
- チェンジマネジメントと組織改革 (Leading Change and Organizational Renewal)

## 戦略 (Strategy)

- 破壊的イノベーション戦略 (Disruptive Strategy)
- ビジネス戦略 (Business Strategy)
- 戦略の実行 (Strategy Execution)
- 持続可能なビジネス戦略 (Sustainable Business Strategy)
- グローバルビジネス (Global Business)
- マネージャーのための経済学 (Economics for Managers)

## 企業と社会 (Business in Society)

- 持続可能なビジネス戦略 (Sustainable Business Strategy)
- サステナブル投資 (Sustainable Investing)
- ポジティブ・インパクトを生み出すリーダーシップ (Power and Influence for Positive Impact)
- グローバルビジネス (Global Business)
- リーダーシップ倫理と企業の説明責任 (Leadership, Ethics, and Corporate Accountability)
- ビジネスと気候変動 (Business and Climate Change)

## ＜受講目的＞ 法人/個人様ともに

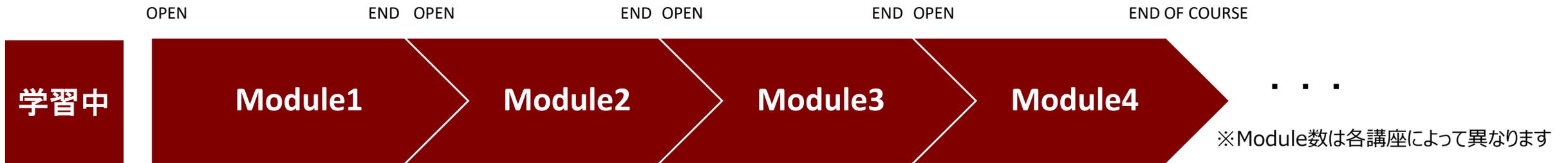
- ✓ 各学習領域のグローバルで通用する専門性や実務スキルを高めたい
- ✓ 海外赴任者や海外プロジェクトを率いるグローバルリーダーとして活躍したい
- ✓ グローバル基準の高品質なオンライン講座に興味がある
- ✓ 英語力をより高めたい

## ＜受講/修了要件＞

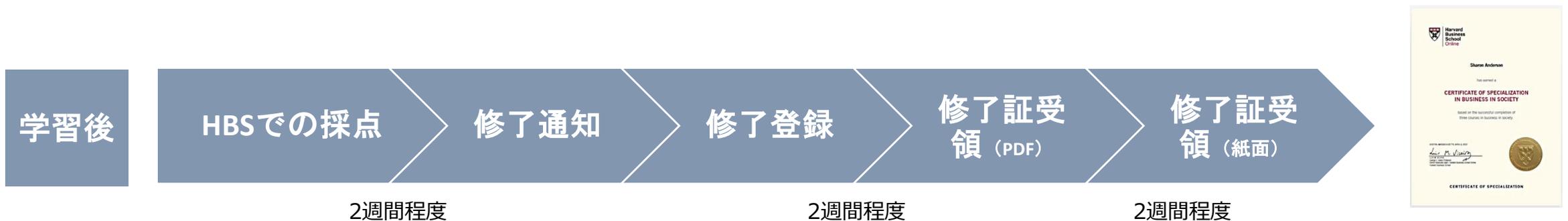
- ✓ TOEIC700点以上（全編英語での実施のため）
  - ✓ 英語が得意な方で週10～15時間、英語学習中の方で15～20時間の学習時間が必要（目安）
  - ✓ 動画に字幕がついており、一定のリーディング、ライティング能力があれば、グローバルビジネスのポテンシャル層も受講可能
- ✓ 毎週オープンになるModuleを週次の期限内に100%完了することが修了要件

# 修了証獲得までの流れ

・HBS Online学習中は、毎週決まった時間帯に1Module（1週間分の課題）がプラットフォーム上に公開される。受講者は1週間の期限の中で各々学習を進めていく。



・講座終了後はHBSでの採点がなされ、修了者へ修了証（PDF/紙面版）が送付される。コース終了から紙の修了証の受け取りまではおおよそ1ヶ月半～2か月ほどかかる。



## WHAT SETS HBS ONLINE APART?

Our flexible, online programs are designed to bring the Harvard Business School classroom to you, and are built around three key characteristics:



### Active

HBS Online courses are nothing like a typical sit-back-and-listen lecture. You'll engage in a new activity every three to five minutes. Each element is designed to keep you interested, involved, and on your toes.



### Social

Engaging with your peers is a big part of what makes HBS Online unique. You exchange ideas, offer input, and seek out viewpoints from a community of learners gathered from around the globe. In the process, you learn from each other's experiences and perspectives.



### Case-Based

Immerse yourself in real-world learning. Lessons are brought to life through cases, which put you in the shoes of business leaders. Hear firsthand the challenges they faced, and wrestle with the same issues and imperfect information.

①臨場感のある動画と課題による  
アクティブ・ラーニング

②グローバルピアとの  
意見交換・学び合い

③実在の企業のケース事例

# ① 臨場感のある動画と課題によるアクティブ・ラーニング

動画視聴だけではなく、都度プラットフォーム上で短文の回答を入力するなどワークを進めていく形式となっています。

自身の回答や意見に関して他の受講者からFeedbackが得られ、“Cold Call”により途中で指名され回答を求められる等、オンラインのプロジェクトの世界に没入しリアリティの中で演習していきます。

**Q** Now think about the end of the project. What are your objectives for the team—what do you want to accomplish by the end of this six-month assignment? What would constitute success for you?

**RESET**   **SAVE**   **SUBMIT**

### Video Upload

Based on the plan that you made in the interactives above, please record a 30- to 90- second video of yourself launching the team at that first gathering. Speak directly to your team members in the video as if you were Gonzalo.

Specifications for your video:

- You can record this video on a phone, computer, or other video recording device. We recommend that you use a desktop or laptop to record your video if either option is available to you.
- Your video should be at least 30 seconds and no longer than 1:30 minutes.
- Please record your video in a landscape format.
- If you record your video on an Apple mobile device and the file size is greater than 25MB, you might need to use AirDrop or USB cable to transfer the file to your desktop or laptop.

Depending on your connection speed and file size, it may take a few minutes to upload your video.

Your video must be at least 30 seconds and no longer than 1:30 minutes.

 **SELECT VIDEO FILE**  
No File Selected

## ②グローバルピアとの意見交換・学び合い

学習中は幾つかのモジュールにおいてグローバルの受講生同士でのチームプロジェクト（複数名または1対1でディスカッションやインタビュー）が課されます。

チームやパートナーはHBSにより自動で割り当てられ、チャット機能やDM機能の他、Skype、Google Hangouts、Facebook、WhatsAppなどのツールを利用しコミュニケーションを取ることで学習を進めます。

### 課題一例

#### Team Project Details

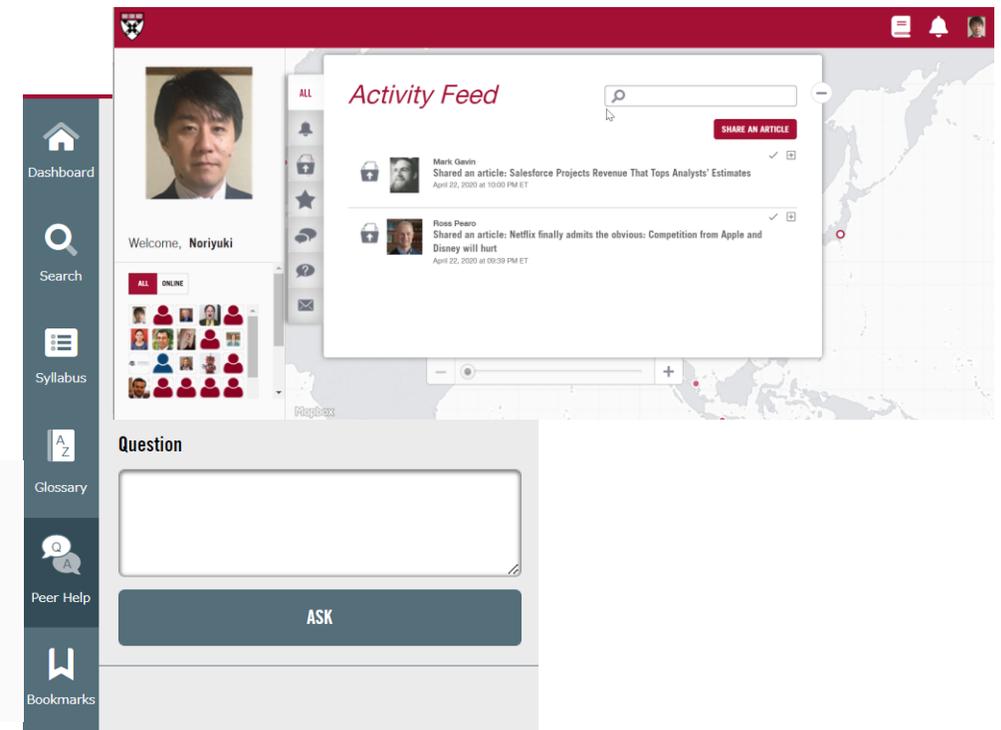
Here is some important information about the Team Project:

- Your team of 3 will be formed automatically via the Team Discussion teaching element below. Please discuss the 'robo advisors' case and answer the associated questions with your assigned team members.
- Note that after you initiate the discussion on this page, the discussion continues ON THE LEFT SIDEBAR at the Team Discussion icon.
- There are two ways to communicate with your team.

#### One-on-One Discussion & Interview Assignment: Discovering Customer Jobs to be Done

As you will learn in this module, a major key to discovering customer jobs to be done is to observe and interview consumers. For this assignment, you will do a one-on-one interview with another participant.

### 学習プラットフォーム



### ③実在の企業のケース演習

教授によるインプットを得ながら、ケース演習を通して「自分の所属組織に置き換えるとどうなるか？」を考える

THREE TYPES OF INNOVATION

Honda MotorやThe Walt Disney、Netflixといった世界の大手企業が実際に行ったイノベーション戦略等の事例を学ぶ

# CircleUp

\* CircleUp社のケース例：  
資本をもとめる起業家と投資家の両方をつなぐ金融サービスの事例

Ryan Caldbeck  
Founder and CEO of CircleUp

00:56 01:22

**HONDA**  
The Power of Dreams

**NETFLIX**

**MEDIATEK**

The  
**WALT DISNEY**  
Company

*Godrej*

**Nyro**

# Clayton M. Christensen

## クレイトン・クリステンセン

(Disruptive Strategy 講義担当)

アメリカ合衆国の実業家、経営学者。

初の著作である『イノベーションのジレンマ』によって破壊的イノベーションの理論を確立させたことで有名になり、企業におけるイノベーションの研究における第一人者である。

また、イノベーションに特化した経営コンサルティング会社であるイノサイトを共同で設立し、ハーバード・ビジネス・スクール（HBS）の教授も務めた。



成長、戦略、革新のための世界的に有名なツールとフレームワークをクリステンセン教授から直接学び、自分の組織の中でイノベーションのための行動を起こすことのできるリーダーを育てます。

## よくあるお悩み

- イノベーション推進は重要な経営課題である一方、どのように推進していけばいいかわからない
- 実際に自社組織のビジネスとしてどう応用し、どう戦略を立てていくべきなのかが定まっていない



## コースで学ぶ内容

- 破壊的イノベーション理論の専門知識
- 新しいビジネス機会や潜在的な脅威の評価方法
- 顧客理解を深めるフレームワーク
- エグゼクティブレベルでの高度な戦略策定
- イノベーションを引き起こす組織の考え方
- 課題と解決策への総合的な理解

Disruption（破壊・混乱）を回避し、新たな成長を生み出す革新的で起業家精神にあふれたリーダーへと成長する自身の所属する業界で、次に何が起こるかを予測し持続可能かつ長期的なパフォーマンスを達成できるようにする

# 講座シラバス一例①：Disruptive Strategy

Module	ケース演習	学習の要点	アサインメント（課題）
Introduction	<b>Lenses on the World</b> インテルのアンディグローブ会長の事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略的思考を採用する</li> <li>戦略的な質問を明確にする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略的に質問をする</li> </ul>
Module 1	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>Aligning with Innovation and Disruption</b></li> <li>WRハンプレイトとGoogleIPO ：投資銀行業務への新しいアプローチ</li> <li>本田技研工業：新市場への参入</li> <li>CircleUp：プライベートエクイティの再考</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3種類のイノベーションがいつ発生するかを予測する</li> <li>Disruptionを、ビジネスの新たな成長として認識する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームディスカッション</li> <li>チームプロジェクト</li> </ul>
Module 2	<b>Discovering Customer Jobs to be Done</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ウォルトディズニーカンパニー：テーマパーク事業の拡大</li> <li>ゴドレジグループ：インドの冷凍ニーズを理解する</li> <li>ミニツククリニック：医療提供への新しいアプローチ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客が自社製品を購入する理由を深く理解する</li> <li>差別化や利益向上の視点を持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1対1のディスカッション</li> <li>チームディスカッション</li> </ul>
Module3	<b>Organizing for Innovation</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Nypro Inc.：新しい製品ラインを通じて成長を模索</li> <li>Charles Schwab：インターネットの新世界での取引</li> <li>EMC：買収による競合製品の統合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織内で出来ることと出来ないことを特定する</li> <li>リソース、プロセス、利益構造を見直す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最終論文のブレインストーミング（自分が属する組織での成長・成功について多角的に検討する）</li> </ul>
Module4	<b>Maintaining a Disruptive Scope</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽産業：新しい時代のプロデュースとパフォーマンス</li> <li>MediaTek：アジアの新技術へのアクセシビリティの拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業界の発展に伴い、どこに利益が発生するの“skate”でできる感覚を養う</li> <li>社内で行う業務と外部委託できる業務を見極める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返り</li> </ul>
Module5	<b>Managing the Strategy Development Process</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>OnStar：ゼネラルモーターズの新しいイノベーション</li> <li>Netflix：ホームエンターテインメントの進化</li> <li>シアーズ、IBM、AOL：デジタル時代のブームの間のインターネット消費を理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的戦略プロセスと突発的戦略プロセスのバランスを考慮し、組織内のイノベーションを推進させる</li> <li>どの“type”のお金が新しいビジネスアイデアを繁栄させる力を与えるかを決定する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返り</li> <li>チームディスカッション</li> </ul>
Conclusion	N/A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習した内容を明日、来週、来年にどう活用するかを考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最終論文</li> </ul>

# 講座シラバス一例②：Leadership Principles

Module	内容	アサインメント（課題）
Module 1	<p><b>Taking Charge</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リーダーシップの仕事は、人をサポートすること、人を動かすこと、人を導くことであることを理解する</li> <li>他人の能力を最大限に引き出すために、リーダーの自己認識や考え方を変える必要があることがわかる</li> <li>リーダーシップを発揮するためには、感情をコントロールすることが重要であることを理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビデオアップロード：リーダーシップの場面での自分の反応を収録し、プラットフォームにアップロード</li> <li>各種問いに対する考えや体験などのアウトプット（記述）</li> </ul>
Module 2	<p><b>Leading Your Team</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>チームの有効性を示す指標を学ぶ</li> <li>チームの目的、構成、プロセス、立ち上げなど、チームパフォーマンスを促進する条件を管理する方法を探る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種問いに対する考えや体験などのアウトプット（記述）</li> </ul>
Module 3	<p><b>Unleashing Potential in Yourself and Others</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分のリーダーシップスタイルの特徴、機能、原動力を理解し、課題に応じてどのように適用、拡大するかを理解する</li> <li>チームのモチベーションを高め、個々の才能を引き出す方法を学ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビデオアップロード①：自分自身を録画し、相互評価演習から学ぶことで、他者がリーダーとしての自分をどのように評価しているか理解を深める</li> <li>個人的価値観アンケートによる自己評価で、リーダーとしてのモチベーションの原動力を探る</li> <li>ビデオアップロード②：リーダーシップの7つの観点を意識して、また、前回のフィードバックを活かし、あたらめてビデオ収録する</li> <li>各種問いに対する考えや体験などのアウトプット（記述）</li> </ul>
Module 4	<p><b>Your Network</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コーチングやフィードバックのテクニック、権限のあるなしにかかわらず影響力を行使する方法を習得する</li> <li>ネットワークの活用法を学び、それを拡大・発展させる方法を探る</li> <li>リーダーシップのストレスに対処する方法を探る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビデオアップロード：フィードバックやコーチングを行う練習をし、ケース登場者をどうコーチングし、指導するのか直接話すかけるように収録する</li> <li>仕事上の人間関係を可視化し、振り返り、活用するために、自分の仕事上のネットワークの図を作成する</li> <li>コースで学んだことを振り返り、自分のリーダーシップ開発プランを考える</li> <li>各種問いに対する考えや体験などのアウトプット（記述）</li> </ul>

# 課題一例：VTR動画による課題提出

「受講者から投稿VTRへのFeedbackが得られる」「Cold Callにより途中で指名され回答を求められる」等オンラインのプロジェクトの世界に没入し、リアリティの中で演習していきます。

**Q** Now think about the end of the project. What are your objectives for the team—what do you want to accomplish by the end of this six-month assignment? What would constitute success for you?

**RESET**   **SAVE**   **SUBMIT**

### Video Upload

Based on the plan that you made in the interactives above, please record a 30- to 90- second video of yourself launching the team at that first gathering. Speak directly to your team members in the video as if you were Gonzalo.

Specifications for your video:

- You can record this video on a phone, computer, or other video recording device. We recommend that you use a desktop or laptop to record your video if either option is available to you.
- Your video should be at least 30 seconds and no longer than 1:30 minutes.
- Please record your video in a landscape format.
- If you record your video on an Apple mobile device and the file size is greater than 25MB, you might need to use AirDrop or USB cable to transfer the file to your desktop or laptop.

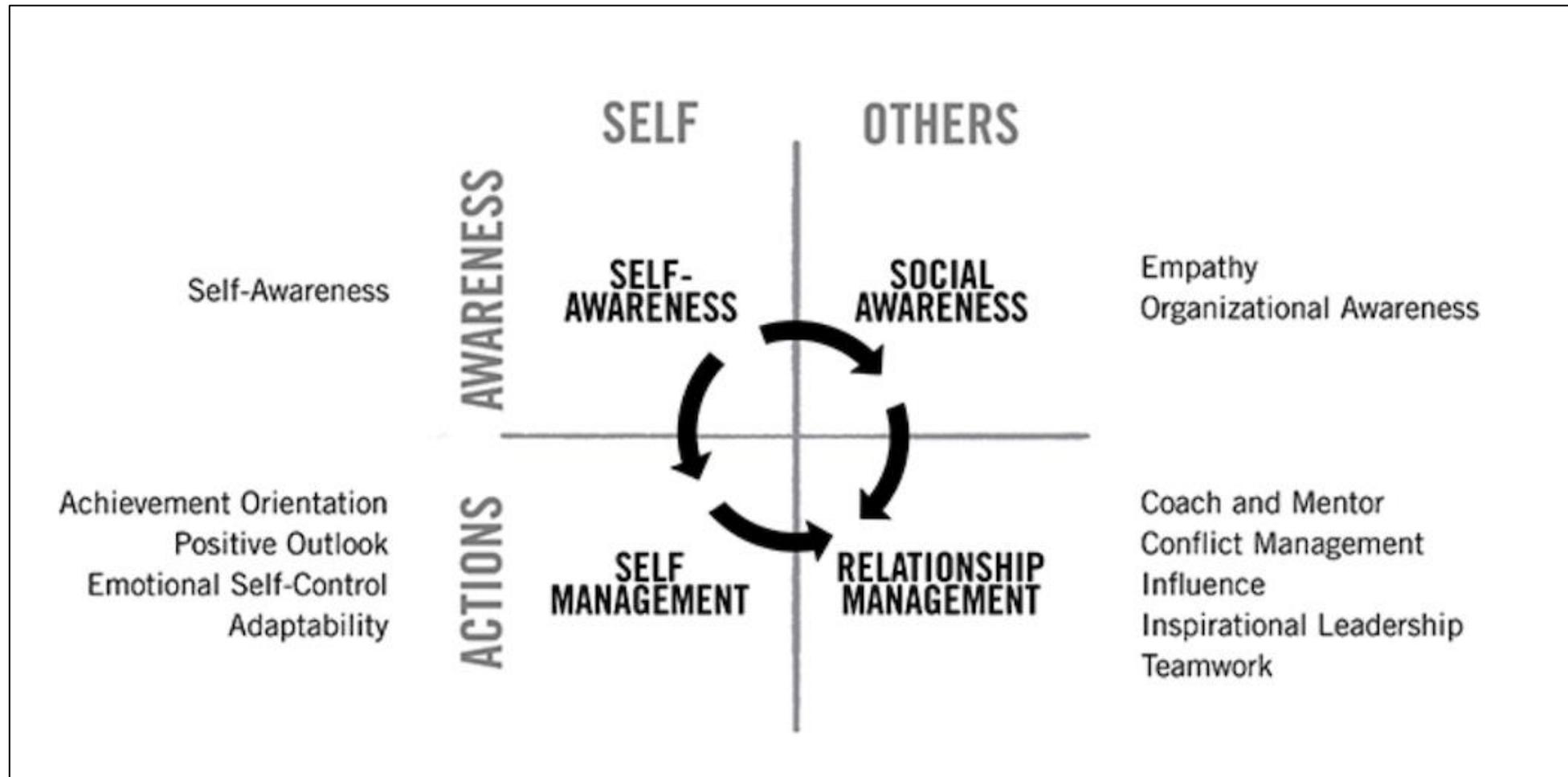
Depending on your connection speed and file size, it may take a few minutes to upload your video.

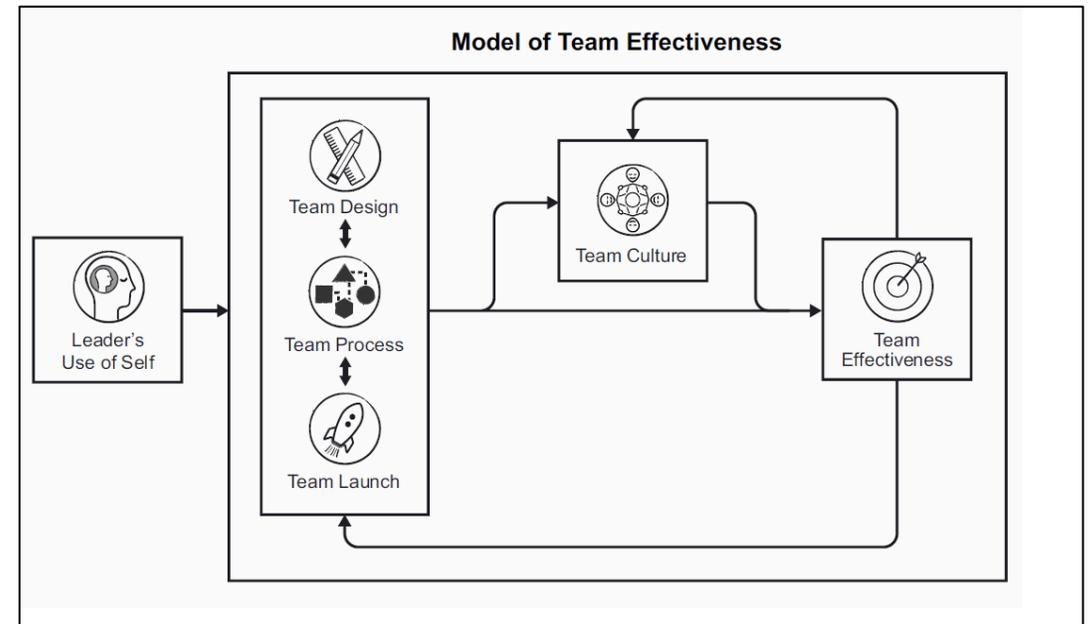
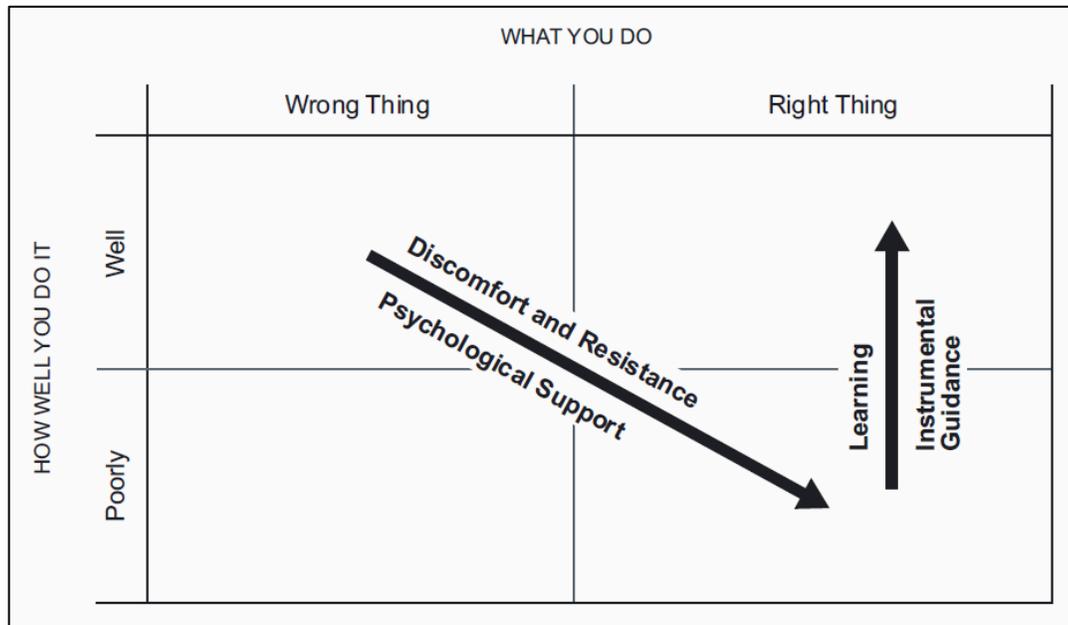
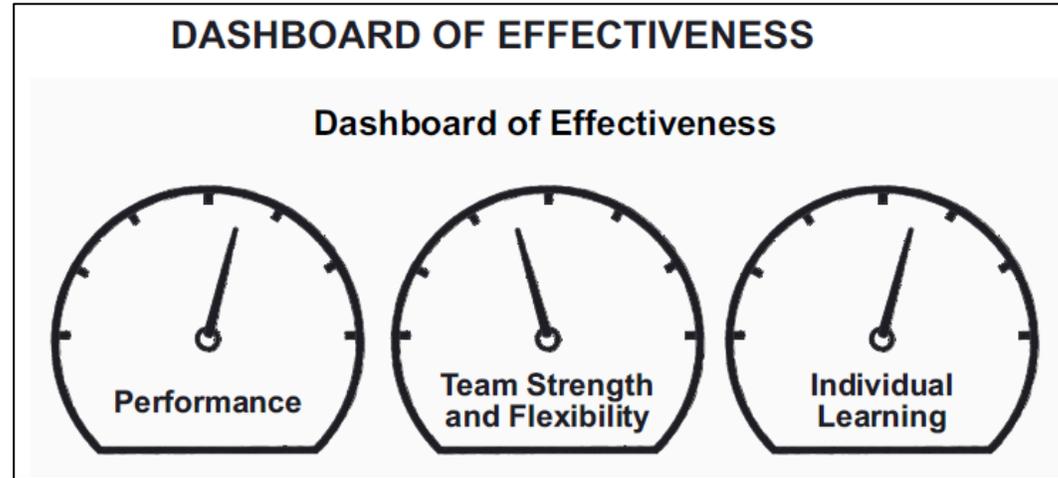
Your video must be at least 30 seconds and no longer than 1:30 minutes.

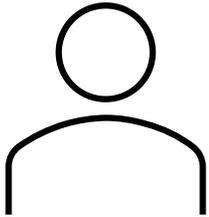
 **SELECT VIDEO FILE**  
No File Selected

# 課題一例：360度サーベイ

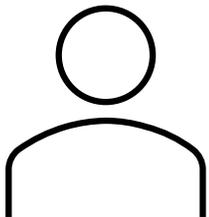
6名(推奨)の360度評価情報を取得し、自らのリーダーシップを振り返ることができます。



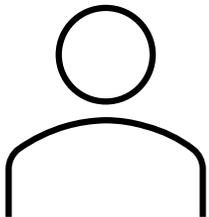




対面形式での実施が主流となりがちな「リーダーシップ開発」というテーマを、オンライン上で学べてしまうことに衝撃を覚えました。**同テーマに関しては、今まで様々な外部研修を受講してきましたが、リアリティのあるケース演習とともに世界中の同期からのフィードバックが得られる点において、とても完成度の高い講座だと感じました。**チームが上手くいっていないときの自身の振舞い方やメンバーへの関わり方など、実践に活かせるような内容をフレームワークを用いて体系的に学ぶことができました。（Leadership Principles修了）



自身の業務との親和性が高いテーマだったため受講しました。**TOEIC600点台と英語にはさっぱり自信がない状態で思い切って挑戦しましたが、動画には字幕もついており、リーディング・ライティングが中心の講座となるため、なんとか乗り切ることができました。**近年よく耳にするESG、SDGsといった用語は、**本質を理解されずに独り歩きしがちなところがありますが、実在のグローバル企業事例を基に、背景やその意味を深く学べた点が良かった**と感じています。自分の会社や、会社を取り巻くビジネス環境の中でどうアクションを起こしていきたいかを考えさせられる講座となっており、とても有意義でした。（Sustainable Business Strategy修了）



念のため、事前に「破壊的イノベーション戦略」に関する本をいくつか読んでコースに参加しましたが、**コース本編でかなり体系的に学ぶことができるため、事前学習は不要だった**ように感じました。本を読むだけでは解釈や知識が追いついていない部分について、講師から直接（オンライン上で）解説を受けることで理解を深めることができました。コースでは、**自社ビジネスに関する戦略を練り、学んだ内容を踏まえて都度アップデートを重ねた上で、最終的にA4一枚のレポートを提出しました。**（Disruptive Strategy修了）

企業名	職種	受講講座	学習ニーズ・詳細
外資系製薬メーカー	広報・マーケティング	ハーバード流交渉術 (Negotiation Mastery)	国内での事業戦略および新製品戦略を推進していく上で、本国を含めた関係各所との交渉力をより高めていく必要があり、チームで同一期に受講。
国内大手金融	営業	ビジネス分析 (Business Analytics)	業務においてマス情報を扱うことが多いため、スキルアップとして受講。社内でグローバル展開に注力していることもあり、英語学習の動機付けも兼ねて人事より年に2回、受講者を選抜募集をしている。
外資系ITサービス	営業	リーダーシップの原則 (Leadership Principles)	中堅リーダー層向けのスキルアップと自己認知を高めるために受講。海外の受講生とのネットワーキングのツールとしても活用。
国内大手エネルギー	グローバル関連	財務によるリーダーシップ (Leading with Finance)	英語はもとより、ファイナンスの知識が業務上必須となるため現在トライアル受講中。(カンパニー内での育成プログラムとして導入を検討)
国内大手総合商社	営業	破壊的イノベーション戦略 (Disruptive Strategy)	海外出張が多く、なかなかまとまった時間を確保することは現実的でないが、MBAの学びや戦略の領域に興味があり受講。業務の繁忙期を避けて、短期でオンラインで完結できる学びの機会として利用。

### 3. 法人プレミアム割引のご案内

年間**5名様**以上お申込みいただける企業様へ、法人プレミアム割引（**導入費用なし**）をご用意しています。

## 1 貴社専用価格で受講できる

- 国際水準の高品質な講座をスケールメリットを活かした 専用価格のご案内
- 別途提供の 貴社専用ページ を社内展開に活用可能

## 2 定期フォローにより最新情報を確認できる

- 定期的なフォローアップにて各講座の 受講者数をご共有
- 各資格の試験制度改定や学習方法の最新情報をご提供

## 3 修了証発行により理解度を確認できる

- 修了テストの合格者に 修了証を発行
- 漫然と受講するのではなく講義の理解を促進

下記講座の通算お申込人数にて判定いたします。

- **U.S.CPA**（米国公認会計士）プログラム
- **CIA**（公認内部監査人）プログラム
- **CISA**（公認情報システム監査人）プログラム
- **CFE**（公認不正検査士）プログラム
- **IFRS**（国際会計基準）プログラム
- マサチューセッツ州立大学MBAプログラム
- ハーバード・ビジネス・スクール オンライン

## 受講料

- ・ 入学金  
11,000円 → **0円**
- ・ ライトパック料金※  
616,300円～ → **606,300円**  
※単位試験取得費用6科目含（会計またはビジネス約15単位）

## 5年間サポート

 教材 ・紙テキスト・紙問題集	 教材 ・eラーニング・Web問題集	 電子テキスト
 自習室 個別自習ブース	 教室講義参加	 学習カウンセリング
 模擬試験 (日本語解説)	 過去問10年分 (Released Question)	 直前対策講座

## 各種割引制度（左記と併用可）

新卒1年目割引 <b>50,000円OFF</b>	公認会計士 <b>50,000円OFF</b>	税理士割引 <b>30,000円OFF</b>
簿記1級・BATIC・ CFA・中小企業診断士 <b>10,000円OFF</b>	CIA・CISA・CFE・ IFRS・FP2級 <b>5,000円OFF</b>	
他校学習経験者割 <b>20% OFF</b>	単位取得者割 <b>50,000円 OFF</b>	JCPA学習経験者割 <b>20,000円 OFF</b>

# 会社専用ページの作成例



社内イントラなどに掲載可能な、専用価格・申込方法をまとめた専用ページをご提供いたします。

The screenshot shows a corporate portal page with a dark blue header and a white main content area. The header includes the Abitus logo and navigation links. The main content area features a large heading '企業専用ページSAMPLE 対象コース' and a sub-heading '割引利用の流れ'. Below the heading, there are three numbered steps: 1. 講座を知る (Learn the course), 2. 見積り依頼をする (Request a quote), and 3. 決済・学習開始 (Payment and start of learning). Each step is accompanied by a brief description. The page also includes a search bar and a '企業専用ページ' button.

The screenshot shows a corporate portal page titled '対象講座・価格' (Target Courses and Prices). The page is divided into two main sections: '財務・会計・IFRS' and '内部監査・内部統制'. Each section contains a table of courses with columns for 'コース' (Course), '価格' (Price), and '割引価格' (Discounted Price). The '財務・会計・IFRS' section includes a table for 'U.S. CPA (米国公認会計士)' and 'IFRS - Certificate コース'. The '内部監査・内部統制' section includes a table for 'CIA (公認内部監査士)'. Each table has buttons for '資料請求' (Request materials), '見積り依頼' (Request quote), and '予約' (Reserve).

コース	価格	割引価格
U.S. CPA (米国公認会計士)		
U.S. CPA (米国公認会計士) - コース	¥110,000	¥110,000 (企業専用価格よりお安く)
U.S. CPA (米国公認会計士) - コース	¥110,000	¥60,000

コース	価格	割引価格
IFRS - Certificate コース	¥110,000	¥110,000 (企業専用価格よりお安く)
IFRS - Certificate コース (70%割引)	¥110,000	¥110,000 (企業専用価格よりお安く)

コース	価格	割引価格
CIA (公認内部監査士)		
CIA (公認内部監査士) - コース	¥110,000	¥110,000 (企業専用価格よりお安く)
CIA (公認内部監査士) - コース	¥110,000	¥110,000 (企業専用価格よりお安く)

## 弊社講座の受講者数の比較

(対象期間：4月1日～9月30日)

単位：名

	USCPA				CIA				CISA				CFE				IFRS				計			
	昨年	今年	合計	変化率	昨年	今年	合計	変化率	昨年	今年	合計	変化率	昨年	今年	合計	変化率	昨年	今年	合計	変化率	昨年	今年	合計	変化率
本体A社	20	24	44	120%	3	7	10	233%	4	9	13	225%	0	2	2		1	3	4	300%	28	45	73	161%
子会社B社	3	5	8	167%	0	1	1		0	0	0		0	0	0		0	0	0		3	6	9	200%
子会社C社	2	4	6	200%	1	5	6	500%	0	1	1		1	0	1	0%	0	0	0		4	10	14	250%
子会社D社	1	6	7	600%	0	0	0		1	3	4	300%	0	0	0		0	0	0		2	9	11	450%
子会社E社	1	1	2	100%	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		1	1	2	100%
子会社F社	0	4	4		0	1	1		0	3	3		0	0	0		0	0	0		0	8	8	
子会社G社	0	1	1		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	1	1	
子会社H社	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	1	1		0	1	1	
	27	45	72	167%	4	14	18	350%	5	16	21	320%	1	2	3	200%	1	4	5	400%	38	81	119	213%

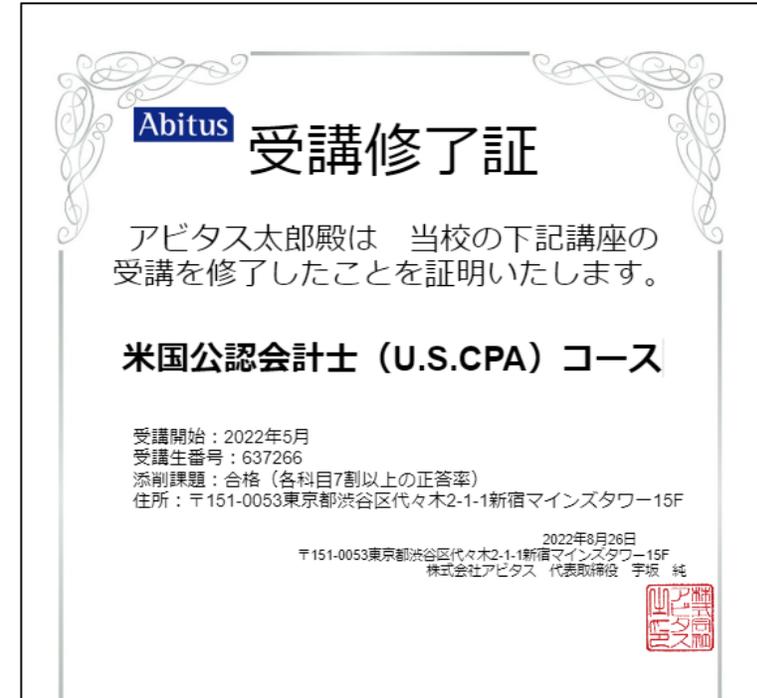
自己啓発制度等の社内制度における要件充足確認に活用可能な修了テスト・修了証をご用意いたします。

<運用イメージ>

専用LMSにて修了テストを受験  
(ID/PWは本講座受講とは別に発行)



各科目8割以上の正答率で、修了証発行



# 法人プレミアム割引適用・運用の流れ

アビタスとの窓口になる方へ各種情報のご連携をさせていただきます。

窓口担当者届出書  
のご提出

貴社専用ページの  
作成

貴社にて展開

更新・定期フォローアップ

届出書提出日: 年 月 日

### 法人プレミアム割引 窓口担当者届出書

●法人プレミアム割引の適用にあたり、弊社との窓口となるご担当者様をご登録いただいております。  
●グループ会社内で費用負担の別、お申込のオペレーションが異なる場合には、それぞれにご担当者様をご登録ください。  
●以前に弊社講座を一般価格でお申し込みされていた場合、滞っての返金はいたしませんこと、予めご了承ください。  
●ご担当者様の変更がある際には、お問合せ窓口までご連絡ください。

法人プレミアム割引を適用するアビタス講座プログラムにチェックしてください。

公認内部監査人 (CIA) プログラム  国際会計基準 (IFRS) プログラム  
 公認情報システム監査人 (CISA) プログラム  米国公認会計士 (U.S.CPA) プログラム  
 公認不正検査士 (CFE) プログラム  マサチューセッツ州立大学MBAプログラム  
 Harvard Business School Onlineプログラム

ご担当者様情報  
 氏名: \_\_\_\_\_  
 部署・お役職: \_\_\_\_\_ ご担当者氏名(フリガナ): \_\_\_\_\_

連絡先  
 TEL: \_\_\_\_\_ EMAIL: \_\_\_\_\_

割引対象企業  
 上記と同一  
 ・ \_\_\_\_\_  
 ・ \_\_\_\_\_  
 ・ \_\_\_\_\_  
 ※3社以上の場合はメールにて営業担当にお知らせください。

割引対象者  
 全社員  
 部門限定  
 ・ \_\_\_\_\_  
 ・ \_\_\_\_\_  
 ※2部署以上の場合はメールにて営業担当にお知らせください。

適用開始希望日  
 年 月 日 ※お申込み日から受講開始まで2週間以上必要です。

ご展開方法  
 専用ウェブサイト  専用申込書 (PDF)  その他 (営業担当者へ調整)

【お問合せ窓口】  
 株式会社アビタス 法人営業部 TEL: 03-2204-3130 / EMAIL: training@abitus.co.jp  
 アビタスオンラインサービス: https://www.abitus.co.jp/service/online/

企業専用ページSAMPLE 対象コース

企業専用ページ作成の流れ

1. 企業専用ページ作成の依頼  
2. 企業専用ページ作成の進捗確認  
3. 企業専用ページの公開

対象講座・価格

講座名	価格
公認内部監査人 (CIA) プログラム	120,000円
国際会計基準 (IFRS) プログラム	120,000円
公認情報システム監査人 (CISA) プログラム	120,000円
米国公認会計士 (U.S.CPA) プログラム	120,000円
公認不正検査士 (CFE) プログラム	120,000円
マサチューセッツ州立大学MBAプログラム	120,000円
Harvard Business School Onlineプログラム	120,000円

2021年・2022年での弊社講座の受講者数の比較  
 (対象期間: 4月1日~9月30日)

単位: 名

	USCPA			CIA			CISA			CFE			IFRS			計			
	昨年	今年	変化率	昨年	今年	変化率	昨年	今年	変化率	昨年	今年	変化率	昨年	今年	変化率	昨年	今年	変化率	
本体A社	20	24	120%	3	7	233%	4	9	225%	0	2	2	1	3	4	300%	28	45	161%
子会社B社	3	5	167%	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	6	200%
子会社C社	2	4	200%	1	5	500%	0	1	1	1	0	0	0	0	0	4	10	250%	
子会社D社	1	6	600%	0	0	0	1	3	300%	0	0	0	0	0	0	2	9	450%	
子会社E社	1	1	100%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	100%	
子会社F社	0	4	0	1	1	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8	
子会社G社	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
子会社H社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	
合計	27	45	167%	4	14	350%	5	16	320%	1	2	200%	1	4	400%	38	81	213%	

監査部の意識が変わる

アビタスの出張説明会 無料

大手金融機関、大手エネルギー会社、大手事業会社など、多数の企業で実績がございます。

貴社でのCIA (公認内部監査人) 資格の説明会・体験講義開催をぜひご相談ください。

説明会開催例

大手保険会社  
 目的: 新任監査人のCIA (公認内部監査人) 資格取得の向上  
 内容: CIA 資格 30分 + CIA 体験講義 90分  
 【研修ご担当者様へ】  
 参加者からは、わかりやすい説明会で、受講を期待したい、という声があった。試験対策では基礎知識や専門知識といった基本的な知識を重点的に講義してもらい、試験対策でも役立つ内容であった。

大手メーカー  
 目的: CIA 資格の取得と試験対策の知識の体感  
 内容: CIA 資格 30分 + CIA 体験講義 90分  
 【研修ご担当者様へ】  
 「アビタスで受講している者」一方で、大半は説明会に参加したことのない者が、CIA 資格を希望し「知識の向上」を求めている。受講を申し込んでもらったと喜んでる。

こんなお悩み抱えていませんか?  
 顧客内で資格取得の機運が高まらない スキルアップの目標がない

貴社の実情に合わせて国際資格の説明会・体験講義をアレンジ

国際標準の内部監査を学び、品質への意識を高める!

本資料についてのご質問、他社導入事例に関するご相談、各講座の資料請求などお気軽にお問合せください。

**Abitus**

**株式会社アビタス**  
法人営業部

TEL : 03-3299-3130

Email : [training@abitus.co.jp](mailto:training@abitus.co.jp)

定休日: 土・日・祝

※スクール部門 木曜定休